

ロボット分野

# ドローンなら、空を飛ぶ郵便局という 近未来イメージも運べるかもしれない。

日本郵便株式会社（東京都千代田区） 事業実施場所：南相馬市

実用化計画開発期間 平成29年9月5日～平成30年2月21日

配送業務の高度化に向けた無人航空機活用検証



## 創るのは、ラストワンマイルのサービス

手紙や小包を無人航空機（ドローン）が届けてくれる。さほど遠くない未来、そんな場面もリアルな日常の一部になりそうです。

全国で24,000店舗を超える郵便局のネットワークが、1日あたり6,000万通もの郵便物に対応しています。それぞれの地域に根ざし、正確かつ迅速な郵便・物流業務に努めることは、いつの時代でも私たちの使命であり続けます。

配達に携わる社員数は現在、約10万人に上りますが今後、生産年齢人口は減少する見通しです。人的リソースを活かし、フェイストゥフェイスのサービス形態を提供する一方、新たなビジネスモデルを創り出す動きも活発化してきました。ドローンの導入に関しては「お客様が注文された日用品などを、ご希望の時に届ける」オンデマンド配送の実施が検討されています。

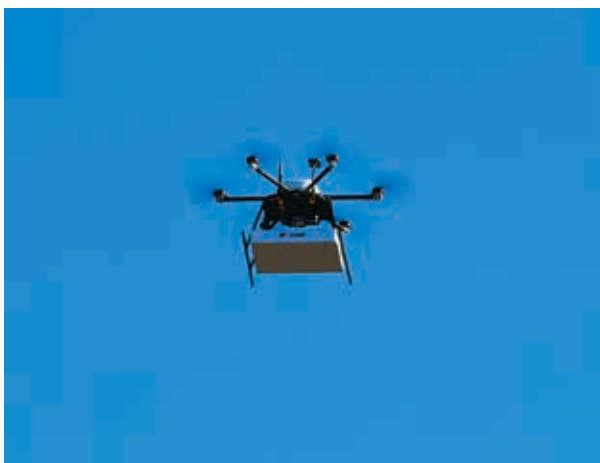
平成29年10月26日、ドローンとの共生を目指す一環である運航管理システム実証試験が産学官連携で行われ、日本郵便も参加しました。南相馬市で整備が進むロボットテストフィールド、さらに市街地を含む空域が設定され、ドローンのシミュレーション飛行に臨んでいます。「配送拠点と玄関先を

結ぶラストワンマイルを、どのようにコントロールするか」という目的意識で離着陸を試みたり、管制チームとの連携方法をチェックしたりしました。こうして集められたデータや実証実験に基づいて課題を把握、さらに解決の糸口を探ってドローン実用化へのロードマップが組み立てられます。



日本郵便株式会社 郵便・物流事業企画部 課長

上田 貴之



## 全国の中山間地への導入モデルを構築

配送業務に於けるドローンの利活用へ向け、平成30年度は試行運用の段階と位置づけられます。それぞれの立地環境に即して郵便局員が安全確実にドローン进行操作できるよう、ロボットテストフィールドが研修・トレーニングの場となります。

郵便物（荷物）を滞りなく運ぶには、スムーズな離着陸・フライトの大前提となる管制システムへの理解が不可欠です。ルート設定・輸送形態・受け渡し方法について幅広く学ぶことも大切です。天候・風向・風力など、リアルタイムの気象条件や地形に応じた観察力と判断力を養い、運航テクニックの基礎を習得すると操縦ライセンスが付与されます。

育成の地・南相馬に集う人材が活躍する場合は福島県の浜通り、そして全国各地へ広がります。ドローンによる配送の高度化・無人化に適する中山間地を主体に、モデル地域が選定されます。



## IoT、システム構築を担う人財へ期待

ドローンの運行をコントロールする各種機能を開発し、体制づくりを進める根幹を成すのは、UTM（運行管理システム）です。

UTMとは、ドローンの運行管理システムのことです。機体同士の衝突や飛行禁止区域の飛行など事故を起こさない安心、安全なシステムが必要となります。UTM開発を通して、無人機を安全に運行させるための環境整備、運用計画などに取り組み、ドローン実用化を目指しています。

より高い安全性を確保するには、多岐に渡る良質な情報の確保が欠かせません。さらなるIoT推進、人的ネットワーク拡充が、ドローンを運用する現場に求められます。こうした社会的ニーズに応えるIT技術者やメンテナンススタッフが活躍の場を求め、南相馬に頭脳が集積していく状況も現実味を帯びてくるでしょう。

## 法人概要



企業名：日本郵便株式会社

設置：平成19年10月1日

代表者：代表取締役社長 横山 邦男

住所：〒100-8798  
東京都千代田区霞が関1-3-2

TEL：03-3504-4411

URL：http://www.post.japanpost.jp/



### 事業内容

郵便業務、銀行窓口業務、保険窓口業務、印紙の売りさばき、地方公共団体からの受託業務、前記以外の銀行業、生命保険業および損害保険業の代理業務、国内・国際物流業、ロジスティクス事業、不動産業、物販業 など